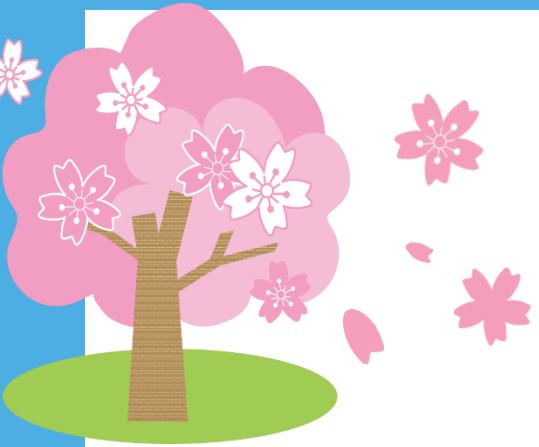


会長あいさつ



会長 高橋 博貴
(大阪南医療センター)



世の中は春の風と共に新年度が始まり、出会いと別れの季節を迎えるました。また、各施設においても、人の入れ替わり等でお忙しい中、協議会の活動に御協力いただきありがとうございます。

今期は先日の総会でも説明したように理学療法の質向上に加え、会員間の親睦を深める対面研修なども少しずつ始めていく方向性がありますが、まだまだ行えていないのが現状です。

そんな中、近畿部会と異なりますが2月末に士長協議会定例会が対面で開催され、会議の前後・休憩中など雑談を交えながら交流を深めている場面を見て、改めて近畿部会もこうありたいと思いました。当会からもそういう機会を提供できるよう企画していきますので、若い会員は新たな出会いを、あるいは異動していった先輩・同僚・後輩との懐かしさを求めての参加などしていただければと思います（自己研鑽も含めてですが・・・）。

今期の近畿部会は役員や各局部員含めて大幅に人員を変更いたしました。役割が変わることで新しい目線で役員会・各局の活動も次へのステップアップができる事を期待しております。詳しくはこの後続く各局長・主任会代表挨拶や協議会のホームページ内などで活動状況を参照していただければと思います。

5月になれば新型コロナも5類と位置付けられますので、当会も会員の方々と一緒にポストコロナに向けた一歩を踏み出せるよう役員・部員一同邁進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

各局あいさつ

～事務局～

事務局長 山原 純 (兵庫中央病院)



このたび、第7期より事務局長を拝命いたしました、山原純と申します。

協議会における事務局は、病院における事務部のような役割を担っており、会員の皆様が円滑に事業を行うための後方支援を行なっています。

具体的には、会員の皆様からいただいた会費の管理、協議会の物品や文書の管理、また会報誌、メール、ホームページ、携帯のLINE等を用いた広報活動を行なっています。

まだまだ至らない点も多いかと存じますが、事務局のメンバーとともに会員の皆様のお役に立てるよう努力していく所存です。今後ともよろしくお願ひいたします。

～学術局～

学術局長 大西 幸代 (近畿中央呼吸器センター)



第7期の学術局長を任せられました、大西です。

学術局の目的は、「理学療法の質向上」ですが、今期は特に若手の方に焦点をあてながら活動していこうと考えています。

近畿グループでは、新人教育マニュアルはすでに浸透していると思いますが、卒前教育から3年目までに枠を広げて、今後も優秀な人材を育成するシステムを構築していく予定です。

そして、新人だけでなく中堅者のスキルアップ・キャリアアップを支援できるような取り組みも考えています。

また、研究・学会発表に関しては、誰もが意欲的に取り組めるように、どうにか敷居を低くできないかと思案しています。2024年に近畿で開催される国立病院総合医学会でたくさんの方に発表していただけることを目指していきます。

会員の皆様のご意見を取り入れながら、学術局をさらに発展させていきたいと思います。引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。

各局あいさつ

～社会局～

社会局長 山本 誠（紫香楽病院）

社会局とは何をする局なのか？なかなかピンとこない方も多いかと思います。協議会近畿部会規約の目的に「質の向上」「地位向上」「相互の親睦」とありますが、これらの目的を達成するために社会局は活動していきます。要するに、会員の皆様のためになることは何でもやりますよ、ということです。

社会局の組織は、「業務推進部」と「情報発信部」に分かれており、「業務推進部」は日々の業務が適正に、円滑に進められるよう研修会や交流会、意見交換会などを企画し、「情報発信部」は適時調査や診療報酬などに関する情報、その他医療に関連するさまざまな情報を定期的に、必要があればスピーディーに発信することとしています。

冒頭でも述べたように、社会局は何でも屋でございますので、要望等ございましたら何でもお気軽に相談していただければと思います。医療情勢は刻々と変わっており、我々を取り巻く環境は日々変化しております。この変化の激しい時代に柔軟に対応できるよう社会局は尽力していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

～企画運営局～

企画運営局長 森 将貴（奈良医療センター）

今期より企画運営局を任せられました、森と申します。この局では、学術、社会局からの研修起案をもとに会員の皆様へ研修（WEBや対面）等を運用する仕事をしています。

2006年診療報酬改定から理学療法（OT、ST）の名称が消え、ここ数年、労働者の権利に関する内容が多いと感じています。今こそ、理学療法士の地位向上、理学療法の質向上のために、地に足をつけた活動が必要だと思います。

今期は、対面研修の運用、懇親会の企画、協議会主催見学研修の開始も視野にいれて、スタッフ一同協力して参りますのでよろしくお願ひいたします。



各局あいさつ

～主任会～



主任会代表 増田 圭亮（京都医療センター）

近畿理学療法士協議会も第7期を迎えました。振り返ってみると主任会代表に任命される以前の代行期間を含めると2年が経ちました。この2年間は一瞬の事のように過ぎていることに驚いております。

主任会会員も45名と年々増え大所帯となっています。

会員の皆様には運用上ご迷惑をお掛けしている事と思いますが、ご協力いただき本当に感謝しております。

第6期の活動では主任業務マニュアルが完成し、主任を対象とした勉強会も無事に終了することができました。第6期で完成したマニュアルを基に第7期では『主任の質を上げる』をテーマに活動をしています。

具体的に取り組む内容は主任業務マニュアルを基に業務の実施状況、実施できていない理由等を調査し、できていない項目は改善方法を各主任と検討し実施できるようにしたいと思います。その他にもマニュアル、規約等の文書関係の見直し、修正も行います。マニュアルの使用方法を誤解している役職者の方々も多く、問い合わせも多数ありますので使用方法の周知も行っていきたいと思います。それぞれの活動にワーキンググループも立ち上げていますのでメンバーの各主任で協力して実行していきます。

主任会は引き続き主任の質向上に繋がる取り組みを行っていきたいと考えていますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願ひいたします。

【募集】 あなたもParTner！！のコーナー

このParTnerは、年3回の発行を予定しています。

内容としましては、協議会の紹介や、新人紹介、施設紹介などを考えております。

もっとより楽しく、おもしろく皆様に読んでいただきたいと思っております。

そこで突然ですが、

頑張ってる会員の活動も載せられたら良いなと考えました。

例えば、

- ・学会で賞を取った会員を紹介する。
- ・何か趣味で行ってる活動で賞を取った会員を紹介する。
- ・この会報誌の表紙の写真やイラストを会員から募集する。

などなど、より会員にもスポットライトを当てるような取り組みもしたいと考えています。

ということで、このコーナーを読んでくれたそこのあなた！

何かいいのがあれば「事務局広報部部員 大阪刀根山医療センター 大道」までご連絡ください。皆様も「パートナー」として、どしどしご応募お待ちしております。



研修会予定

日 時：2023年4月20日（木）18:00～

テー マ：プリセプター研修

講 師：東近江医療センター 家中照平主任

対 象：1～3年目の各プリセプタ

主 催：学術局



日 時：2023年5月18日（木）18:00～

テー マ：筋ジストロフィーの理学療法

講 師：兵庫中央病院 高田裕斗主任

対 象：国立病院PT協議会会員

主 催：企画運営局



国立病院理学療法士協議会の
ホームページも
随時更新されているので
ぜひ見てください♪



発行：令和5年4月1日
事務局：大阪医療センター
リハビリテーション科内
〒540-0006
大阪市中央区法円坂2-1-14

新年度が始まりお忙しいところと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。異動された先生方をはじめ、新体制になり忙しくされていることと思います。忙しい日が続くと思いますが、疲れが出ないよう体調にはお気を付けください。

さて、皆様のご協力のおかげで、NHO理学療法士協議会近畿部会の会報誌第4版を無事に発行することができました。今回は新体制の協議会のご紹介というテーマで作成させていただきました。実際に、協議会って何をしているんだろうと思っていた方も多いかと思います。活動内容を知り、こんなにたくさんの大人が色々してくれているんだなあと、少しでも興味を持っていただけたらと思います。年度末の大変ななか、ご協力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

今回初めて編集に携わらせていただきましたが、こういうのって難しいですよね。センスが問われます。こんな感じでいいのかととても迷いましたが、なんとか形になったのでホッとしています。お気に入りのイラストはブタさんです。

今後とも、新鮮な情報とかわいい雰囲気で頑張りますので、これからも皆様も「パートナー」として、ご協力、応援のほどよろしくお願ひいたします。

事務局広報部部員 大道 憲二（大阪刀根山医療センター）
